



関西大学 化学生命工学部 ってこんな学部!

01 学科(専攻・専修・コース)



化学・生命・マテリアルを学ぶ
2学科5コース

02 特徴的な教育プログラム



コースに分かれて専門領域を深く学ぶ
(P.03・10)

03 教育体制



「化学」と「いのち」を
テーマに学ぶ多様な研究室

04 学びの環境



理系科目の基礎分野に関する
学習支援室を利用可能

05 グローバル



海外での短～中期研究留学を支援

06 卒業後の進路



製造業を中心に活躍
多くの学生が大学院へ進学(5割以上)

化学生命工学部の最新情報をチェックしよう!

理工系ホームページ

さらに詳しい情報、最新のトピックスは「理工系ホームページ」をご確認ください。「教員・研究室紹介」など、学びがわかるコンテンツが満載です。



関大先生チャンネル

関西大学の教員が研究・教育活動について語る“知の動画アーカイブ”、それが「関大先生チャンネル」です。学部のさまざまな先生の講義を体験!



関西大学の最新情報をチェックしよう!

関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大 入試 検索



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

化学生命工学部

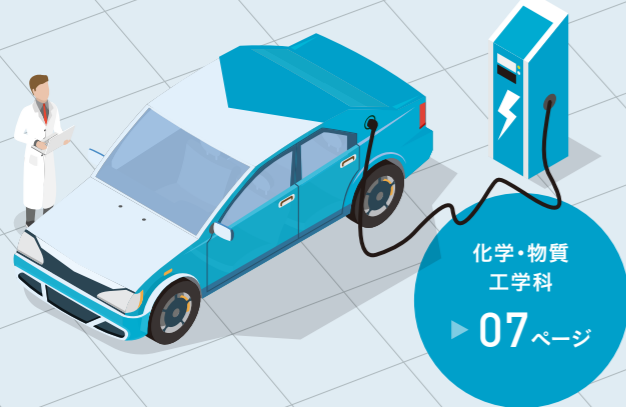
化学・物質工学科

生命・生物工学科

FACULTY OF CHEMISTRY, MATERIALS AND BIOENGINEERING



環境負荷がわずかな電気自動車の実現を支える
次世代エネルギー貯蔵技術



化学・物質
工学科
▶ 07 ページ

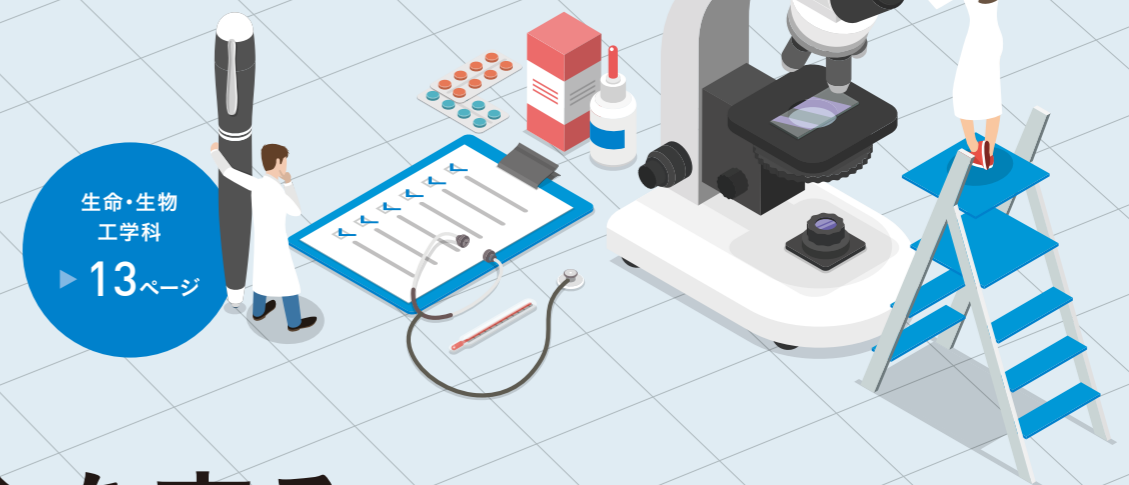


生分解性プラスチックの研究を通して
海洋ゴミの削減を実現する

グリーンケミストリー

化学・物質
工学科
▶ 07 ページ

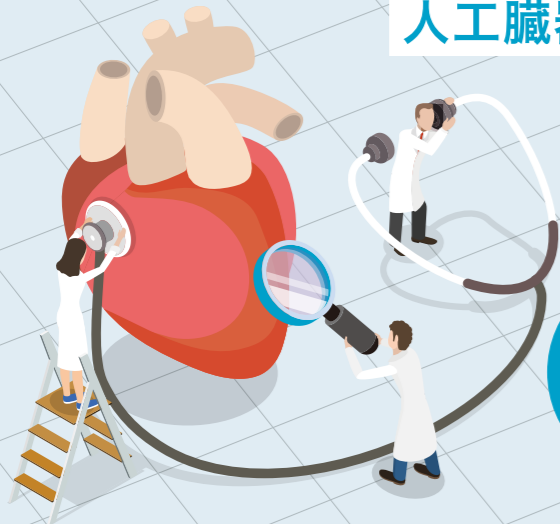
微生物が作る化合物を利用した
医薬品・機能性食品の開発



生命・生物
工学科
▶ 13 ページ

新素材の創出によって患者さんの未来を拓く

人工臓器



化学・物質
工学科
▶ 08 ページ

地球、環境、生命を守る 未知なる「もの」を 発見、創造する。

化学・生命・マテリアルをキーワードの発展に貢献します。これまで人々の暮らしやいのちを守る研究

に、21世紀の「ものづくり」と「先端でなかったもの」を発見・創造し、に、あなたも挑戦してみませんか。

微生物の力を最大限に活用した
ものづくり・環境浄化



生命・生物
工学科
▶ 13 ページ

海外での短～中期研究留学を実現！グローバル人材育成プログラム

化学生命工学部では、1年次から4年次まで連動した「化学生命工学部グローバル人材育成プログラム」を用意しています。学生が学内や海外で外国人と直接接することで、国際性に関する経験値を段階的に上げながら、英語やグローバルな思考を自然と身に付けられます。国際社会で活躍したい方はぜひ、このプログラムに参加してみましょう。1年次では学内制度を利用した「留学準備」を実施。2年次ではアジアの海外大学を訪問し、授業への参加、英語プレゼンテーション、ラボツアー、工場見学、フィールドトリップなどを組み合わせた「海外体験研修」を行います。3年次では海外の研究室で研究活動を行う「短・中期留学（約1～3カ月）」があり、4年次（卒業時）には語学力、グローバル科目の学力成績、留学経験に基づいて認定書を授与します。



1年次 留学準備

- ▶ グローバル・フロンティア科目
- ▶ 留学準備スキルアップ科目
- ▶ Mi-Room(留学生交流)

学内で国際交流！

2年次 海外体験研修

- ▶ 体験型の海外短期プログラム
- ▶ COILによる事前学習

留学を目指す学生のファーストステップ！

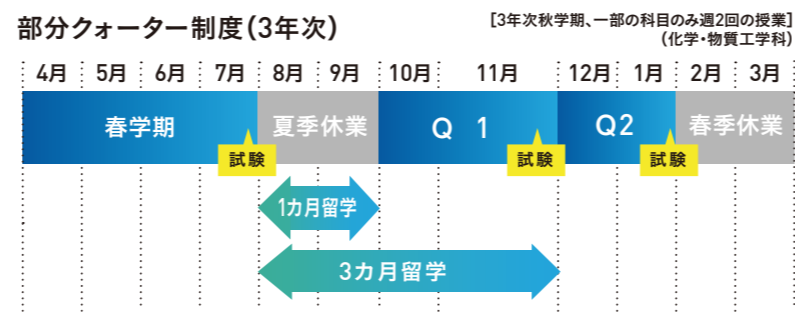
3年次 短・中期留学 (1～3カ月)

- ▶ 協定大学へ短・中期留学
- ▶ COILによる事前・事後学習
- ▶ 留学効果の可視化

海外研究室で研究プロジェクトに参加！

4年次 認定書の授与

- ▶ 卒業研究
- ▶ 学際グローバル認定書



大学院 6カ月～1年間
専門スキルアップ留学(学位取得)

- ▶ ダブル・ディグリー(修士)
- ▶ 英語基準コース(学内)
- ▶ 国際学会にて成果発表

グローバル研究人材

参加学生の声

研究室に所属、英語力だけでなくコミュニケーション能力、行動力、自主性を育めました。

レベルの高い研究に触れ、将来は研究者になりたいと思うようになりました。

学んでいる分野、背景、言語の異なる人々との交流は非常に良い経験となりました。



※本プログラムの内容は変更する場合があります。



学科
ホームページ



堅実な基礎力と柔軟で幅広い応用力を生かして、化学・物質・材料の未来を拓く人材を育成する。

化学・物質工学科の3つのコース

マテリアル科学コース

「もの」の持つ機能を最大限に発揮する、新たな機能を付与するといった、材料学者を育成するコースです。例えば、環境負荷が小さい材料創製など、循環型社会に相応しい材料の研究・開発をめざします。

応用化学コース

ハイテク産業を支え、環境・エネルギー・健康・食糧問題の解決に資する化学者を育成するコースです。目標とする物質合成のための分子設計法や物質を分子・分子集合体レベルで理解する能力を身に付けます。

バイオ分子化学コース

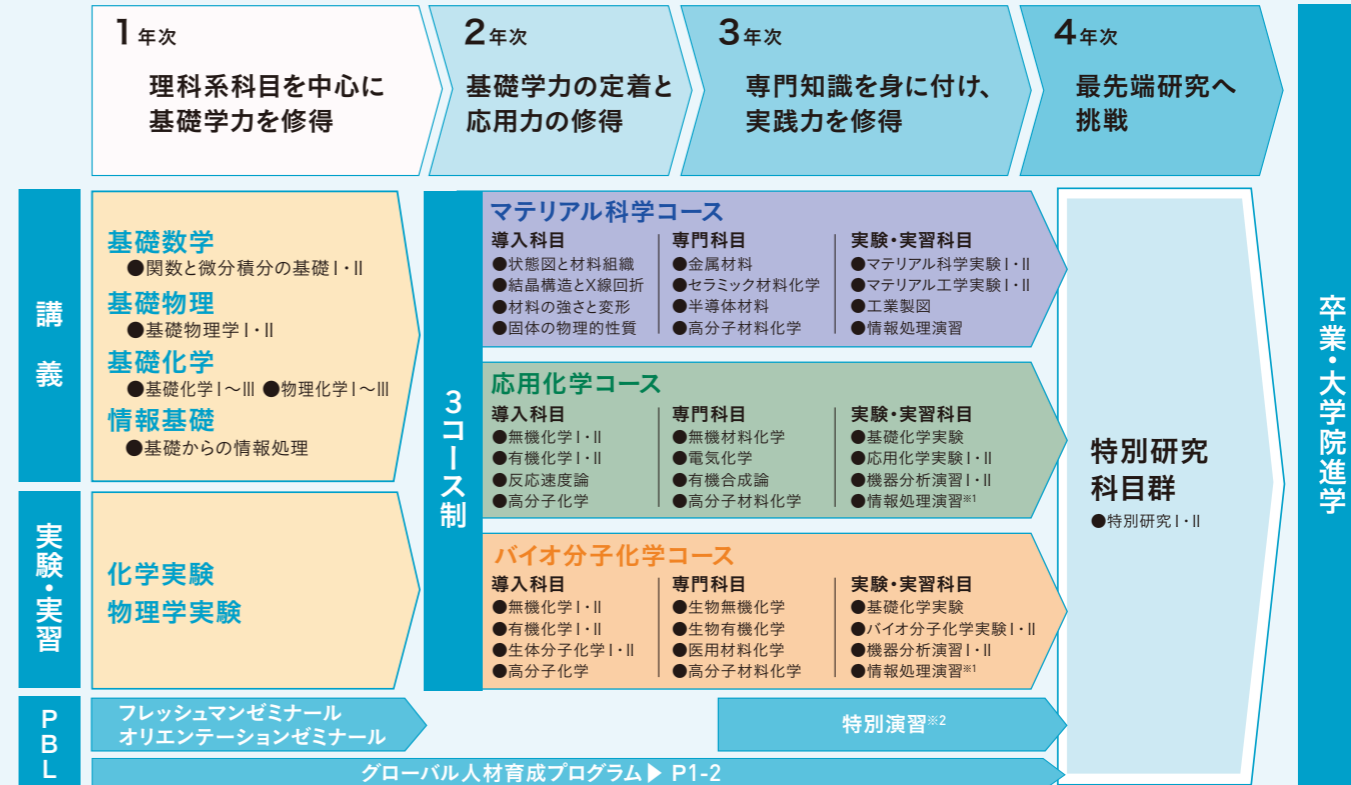
化学の立場から医療・生命科学の発展に貢献する研究者を養成するコースです。タンパク質や多糖・DNAなどの生体分子や、細胞や生体組織そのものに対して動く、新しい分子や高分子材料を、自ら設計・合成する能力を身に付けます。



※マテリアル科学コースはJABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けているため、コース生は卒業と同時に修習技術者としての資格が与えられ、技術士第一次試験が免除されます。

化学・物質工学科の4年間

詳細なカリキュラムはホームページで確認できます。



※1:選択科目 ※2:自由科目

▷ 科目の一例です。詳しくはホームページをご覧ください。

Close up 授業

2年次生
科目

バイオ分子化学実験Ⅰ

中井 美早紀 准教授

講義で学ぶ内容をもとに実験を行い、研究に必要な技術を習得する。

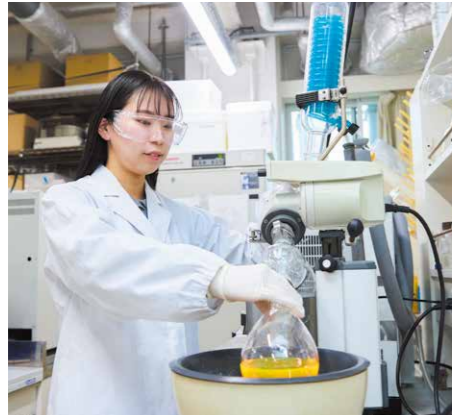
バイオ分子化学実験Ⅰでは、1,2年次で学ぶ物理化学・無機化学の内容を深く理解するために、実際に実験を行います。測定機器の原理や取り扱い方法、測定したデータの解析方法を学び、化学的思考力を向上させます。物理化学・無機化学に必要な実験技術を学び、講義からの知識と実験データとのつながりをもとに、論理的な文章を書く訓練を通じて、研究者に必要な実践的な技術が習得できます。



活躍できるフィールド

選べる3つのコース

マテリアル科学コース	応用化学コース	バイオ分子化学コース
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 金属・セラミックス関連企業 ▶ エレクトロニクス関連企業 ▶ 自動車関連企業 ▶ 産業・精密機械関連企業 ▶ 環境・エネルギー関連企業 ▶ 医療・福祉機器関連企業 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 化学工業関連企業 ▶ 医薬品関連企業 ▶ 自動車関連企業 ▶ 食品関連企業 ▶ 環境・エネルギー関連企業 ▶ 電気・電子デバイス・半導体関連企業 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療・診断機器関連企業 ▶ 医薬品・化粧品関連企業 ▶ 食品・バイオテクノロジー関連企業 ▶ 環境・エネルギー関連企業 ▶ 化学工業関連企業 ▶ 国公立研究機関

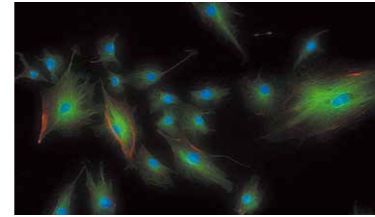


飯阪 眸末さん 理工学研究科 化学生命工学専攻 博士課程前期課程 2026年3月修了

骨に集まる高分子を活用し、がん治療の新たな道を拓く。

従来の骨転移がんの治療は、薬剤が全身に広がって健康な臓器にも影響を及ぼすという課題がありました。私は「骨に集まりやすい」特性を持つ高分子を活用し、がん細胞にのみ抗がん剤を届ける薬物輸送システム(DDS)の研究を進めています。数十ナノメートルの高分子集合体に薬剤を内包させ、血管を通して標的部へ届ける仕組みです。当初は高分子の分子サイズが大きいほど多くの薬剤を内包できると考えましたが、集合体の安定性が乏しく、試行錯誤の結果、骨に薬剤を届ける最適な分子サイズを見出しました。現在は骨転移

モデルを使った治療効果の確認という最終段階まで進んでおり、合成から動物実験まで全プロセスに関わったことで成果を実感しています。学会発表も経験し、研究内容を順序立てて説明する力も身に付きました。



研究テーマ 骨に転移したがん細胞を標的とする薬物輸送担体の開発

この学科を選んだ理由

高校時代から化学が得意で、医療分野にも興味がありました。臨床検査技師も検討しましたが、医療分野全体の発展につながる研究に携わりたいと思い、未来医療に関する先端研究ができる本学科を選びました。

将来の目標

化学メーカーの研究職に就き、在学中に培った化学の知識と技術を生かしてさまざまな分野に挑戦したいです。世の中のニーズに応え、企業の技術力向上に貢献できる研究者が目標です。

先生からのコメント

主体的に課題を設定し、研究を推進する力に期待

高分子合成(ものづくり)から生物学的評価(はたらきを診る)まで一貫して研究できる環境が本研究室の強みです。飯阪さんは、骨に集まる分子の設計から疾患モデルによる薬効確認まで一人で遂行し、その優れた成果は国内外の学会で高く評価され、賞を受賞するなど、目覚ましい実績を収めています。

化学・物質工学科 岩崎 泰彦 教授



Close up 研究

再生医療技術を利用したサンゴの高効率増殖

再生医療分野では、患部に細胞を注入したり、細胞シートを貼付したり、多彩な治療方法が確立されています。現在、サンゴからその最小単位である「ポリプ」という軟組織を単離し、それを起点にサンゴを高効率で増殖させる技術を開発しています。人工関節など医療デバイスの材料として有名な「チタン」の表面では、ポリプが密着しやすく、骨格形成も旺盛であることが確かめられています。



化学・物質工学科 上田 正人 教授

学科Column

理系ならではの国際交流 ~KU-COILプログラム~

クレムソン大学(米国)やチェラロンコン大学(タイ)、香港中文大学(中国)、ミラノ工科大学(イタリア)との交流プログラムを実施しています。本プログラムではオンラインと相互派遣による国際交流を図り、語学力の向上に加え、異文化理解や国際的なコミュニケーション力を養います。さらに、共同研究活動や企業インターンシップ、海外研究室での実践的な学びを通じて、グローバルに活躍する技術者・研究者になるための基礎力を身につけます。



化学研究の見識を深める ~ポスター研究発表会~

化学・物質工学科の研究は幅広い分野にまたがっています。フレッシュマンゼミナール・オリエンテーションゼミナールの講義の一環として、大学院生ポスター研究発表会を通して異なる化学分野に直接触れます。



研究室紹介

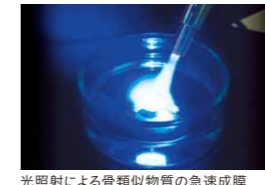
金属材料設計

環境材料研究室

上田 正人 教授

研究分野 環境材料学

- 光化学反応を利用した生体材料の開発
- インプラントの表面修飾
- 電気抵抗率の超精密測定



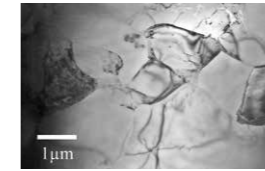
光照射による骨類似物質の急速成膜

材料組織制御学研究室

森重 大樹 教授

研究分野 材料組織制御学

- 非鉄金属材料の高信頼性化
- マグネシウム合金の耐食性向上
- アルミニウム合金の高強度化



微細化されたアルミニウム合金のミクロ組織

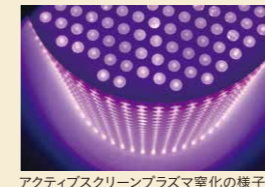
金属材料プロセス

機能材料研究室

西本 明生 教授

研究分野 機能材料学

- プラズマ窒化法、拡散浸透法等による金属材料の表面改質技術の開発
- プラズマCVD法によるダイヤモンド状炭素膜の作製
- 放電プラズマ焼結法による各種機能材料の開発



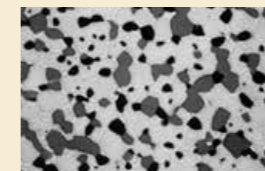
アクティブスクリーンプラズマ窒化の様子

凝固プロセス研究室

星山 康洋 教授

研究分野 凝固プロセス工学

- 急速凝固を利用した金属材料の開発
- AI・機械学習によるシミュレーションを活用した材料開発
- 金属材料の表面処理技術の開発



硬質粒子を分散させた急速凝固材の組織

融体加工研究室

丸山 徹 教授

研究分野 融体加工学

- 自動車などの輸送機器用鋳造材料の開発
- 極限環境に強いハイエントロピー合金の開発
- 環境にやさしい鋳造法の研究



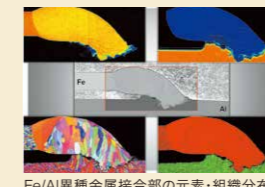
鋳造の様子

材料接合学研究室

山本 啓 准教授

研究分野 材料接合学

- 先進材料の新接合プロセスの開発
- 異種材料接合の高強度化指針の確立
- 接合科学を駆使した新材料の創製



Fe/Al異種金属接合部の元素・組織分布

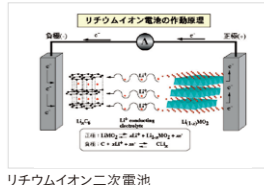
金属・無機材料物性

イオニクス材料研究室

荒地 良典 教授

研究分野 イオニクス材料学

- イオン・電子伝導性固体の合成と物性
- エネルギー変換材料の物質設計
- 放射光X線・中性子線を用いた構造解析



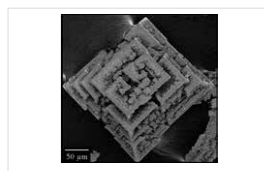
リチウムイオン二次電池

無機材料化学研究室

内山 弘章 教授

研究分野 無機材料化学

- 溶液プロセスによる機能性無機材料のナノ構造制御技術の開発
- 溶液プロセスにおける無機化合物結晶の成長挙動に関する研究
- 無機材料の結晶化挙動に関する基礎的研究



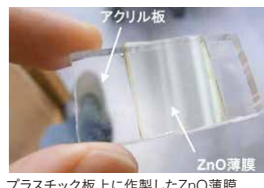
ナノ構造が制御されたSnO結晶

セラミック材料学研究室

幸塚 広光 教授

研究分野 セラミック材料学

- ソルゲル法による機能性セラミック材料ならびに機能性有機・無機ハイブリッド材料の開発
- セラミック薄膜や有機・無機ハイブリッド薄膜を作製する技術としてのソルゲル法に関する基礎科学



プラスチック板上に作製したZnO薄膜

水素エネルギー材料研究室

竹下 博之 教授

研究分野 水素エネルギー材料学

- 燃料電池自動車用の水素貯蔵材料の開発
- コージェネレーション(コジェネ)用の水素貯蔵材料の開発
- 固体中原子の化学結合状態のシミュレーション

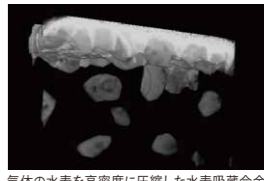


水素貯蔵材料で水素をコンパクトに貯蔵!

近藤 亮太 准教授

研究分野 水素エネルギー材料学

- 水素ステーション用水素吸蔵合金の開発
- 中規模輸送用水素キャリアの開発
- 表面制御型高活性合金触媒の開発



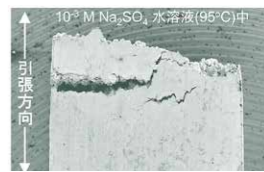
気体の水素を高密度に圧縮した水素吸蔵合金

材料界面工学研究室

春名 匠 教授

研究分野 材料界面工学

- 自己環境遮断性金属材料の開発
- 環境脆化発現機構の解明
- 環境遮断性薄膜の創製とその評価



鋭敏化ステンレス鋼の環境脆化

廣畑 洋平 助教

研究分野 材料界面工学

- 耐食性材料の大気腐食性評価
- 金属材料の腐食劣化機構の解明
- 電気化学を用いた各種センサーの開発



ケルビン法による金属表面の電位の測定

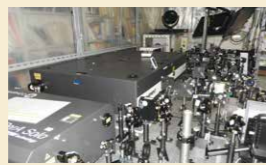
無機・物理化学

光・高分子化学研究室

青田 浩幸 教授

研究分野 光化学・高分子化学

- 光エネルギー変換素子の開発
- 人工光合成系の構築
- 次世代太陽電池の開発



フェムト秒レーザーシステム

郭 昊軒 准教授

研究分野 光化学・高分子化学

- 光電機能デバイス用材料の開発
- 構造制御した高分子の合成
- 蓄電デバイス用材料の開発



太陽電池評価装置

電気化学研究室

石川 正司 教授

研究分野 電気化学・エネルギー化学

- 次世代リチウム二次電池材料の開発
- 新規二次電池材料の開発
- 高性能キャパシタ材料の開発



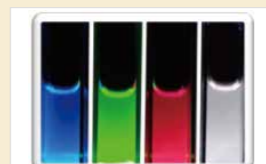
再生エネルギー
電気自動車
人工衛星
宇宙も
蓄電技術！
将来社会を支える電池とキャパシタの技術

界面化学研究室

川崎 英也 教授

研究分野 界面物理化学

- 新規合成法による機能性ナノ粒子の創成
- 機能性ナノ粒子を用いた触媒・電子材料の開発
- 機能性ナノ粒子を用いた環境・バイオ分析の開発



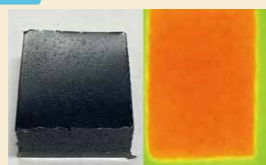
発光するナノ粒子

極限環境化学研究室

山縣 雅紀 准教授

研究分野 熱制御材料化学

- 熱制御材料の開発・評価
- 潜熱蓄熱材を活用したサーマルマネジメント技術の開発
- 熱制御技術の実用化検討・それを活用した人工衛星の開発



一定の温度を保つことができる潜熱蓄熱ブロック

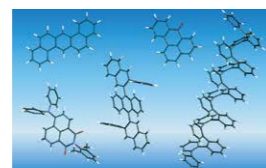
有機化学

有機機能化学研究室

梅田 壘 教授

研究分野 有機合成化学・構造有機化学・有機機能性材料

- 新奇な構造を有する多環式芳香族化合物の合成と新規物性の開拓
- 有機機能性材料を志向した共役バイ電子系化合物の創出
- 計算化学を用いた分子の設計および物性の予測



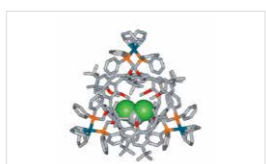
基本骨格となる多環式芳香族化合物群

触媒有機化学研究室

大洞 康嗣 教授

研究分野 触媒有機化学

- 高活性・高選択的反応のための触媒開発
- 有機金属化合物を用いた触媒反応
- ナノ制御空間を有する分子触媒開発



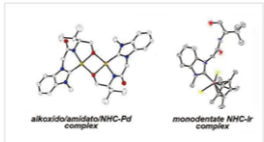
有機分子が包接された金属錯体

有機化学反応研究室

坂口 聡 教授

研究分野 有機反応化学

- 分子構造を精密に制御した高機能金属錯体配位子の創製
- 分子デザインに基づく高活性遷移金属錯体触媒の創製
- 天然物を利用した革新的な不斉触媒反応の開発



開発した新規なPd錯体触媒

有機合成化学研究室

西山 豊 教授

研究分野 有機合成化学

- ヘテロ原子化合物の合成と利用
- C1化合物を用いた合成反応の開発
- 新規触媒反応の開発



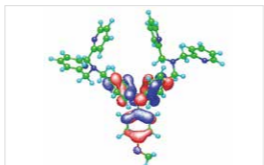
核磁気共鳴吸収スペクトル測定装置 (NMR)

構造有機化学研究室

矢野 将文 准教授

研究分野 構造有機化学・物理有機化学・錯体化学

- 酸化還元をトリガーとする高スピン分子の設計・合成・物性
- 酸化還元活性な配位子と金属錯体の合成
- 有機半導体分子の設計・合成・物性



当研究室で開発した新奇な配位子の構造

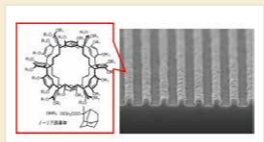
高分子化学

高分子合成化学研究室

工藤 宏人 教授

研究分野 高分子合成化学

- 三次元かご型分子の合成の開発
- 高解像性レジスト材料の開発
- 高屈折率・低屈折率材料の開発



ノーリア誘導体で作成した高解像性レジストパターン

高分子設計創生学研究室

三田 文雄 教授

研究分野 高分子設計創生学

- 光電気機能性高分子の合成
- 光学活性機能性高分子の合成
- 精密遷移金属触媒重合の開発



高次構造の制御された高分子のイメージ図

曾川 洋光 准教授

研究分野 機能性超分子化学

- バイオマスを利活用するサステナブル高分子の合成と分解
- 機能性超分子ネットワークポリマーの合成
- 海藻由来機能性材料の開発



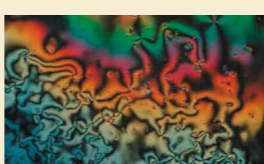
海藻由来多糖からなるサステナブル水性接着剤

高分子応用材料研究室

原田 美由紀 教授

研究分野 高分子材料化学

- 高放熱性ネットワークポリマーの開発
- 高強靱性ネットワークポリマーの開発
- 高機能ポリマーコンポジットの創製



偏光顕微鏡による液晶パターンの観察

生体材料化学

生体材料学研究室

岩崎 泰彦 教授

研究分野 医用高分子材料化学

- 生体に合った高分子材料の合成と応用
- 生体機能界面の精密設計
- 高機能人工臓器の開発

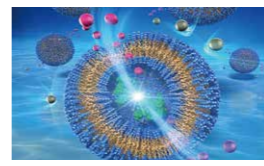


骨疾患治療に資するポリマーのイメージ図

奥野 陽太 助教

研究分野 生体機能材料化学

- ペプチド類縁体の合成と自己組織化体の応用
- 生体を模倣した新規生体適合性高分子の合成
- 生体関連高分子を用いた機能場の創出



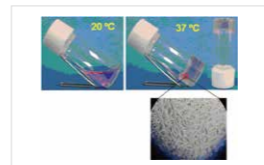
糖とペプチド類縁体が自己集合して形成するベシクル反応場

機能性高分子研究室

大矢 裕一 教授

研究分野 生体材料化学

- 生分解性スマートバイオマテリアルの開発と医療応用
- ドラッグデリバリー用ナノ粒子の開発
- トポロジカルな構造を持つ新規ゲルの合成と物性



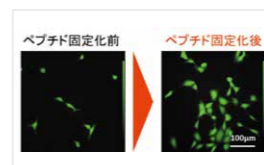
体内でゲル化するインジェクタブルポリマーとそこで増殖する細胞

医工学材料研究室

柿木 佐知朗 教授

研究分野 タンパク質工学・機能性医用材料化学

- 高次構造が制御された機能性人工タンパク質の創製
- バイオアクティブ医用材料界面の構築
- 人工細胞外マトリックスの設計と生合成



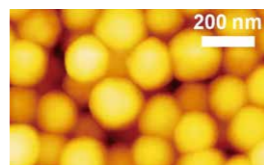
ペプチドを固定化した医用金属材料上に接着する血管内皮細胞

生体界面材料研究室

河村 暁文 教授

研究分野 生体関連高分子化学・ソフトマター

- 高分子合成を駆使した医用材料の創製
- 生物と共生するソフトマテリアルの創出
- 生体に学んだサステナブル材料の創生



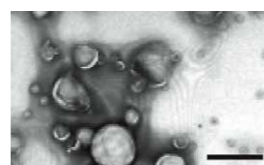
高分子ナノ粒子の原子間力顕微鏡像

環境機能化学研究室

古池 哲也 教授

研究分野 生体機能分子

- 糖鎖超分子化合物の構築
- 環境調和型糖鎖合成プロセスの開発
- 糖鎖を用いた高機能性材料の創製



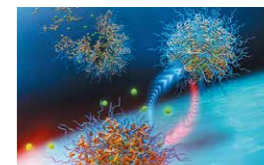
糖鎖被覆リボソームの電子顕微鏡写真

先端高分子化学研究室

宮田 隆志 教授

研究分野 機能性高分子化学

- バイオインスパイアード材料の設計と応用
- スマートゲルの合成と医療・環境応用
- 機能性高分子膜の開発



スマートポリマーを用いた薬物放出制御

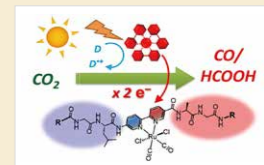
生体機能分子化学

錯体機能化学研究室

石田 斉 教授

研究分野 錯体化学・光化学・生体機能関連化学

- 新規な金属ペプチド錯体(ペプチド折り紙)の開発
- 光化学的CO₂還元触媒反応
- 分子触媒で創る人工光合成

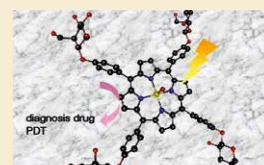


「ペプチド折り紙」で創る人工光合成

中井 美早紀 准教授

研究分野 錯体化学(生物無機化学)

- 核画像診断剤としての金属錯体の開発
- 光線力学療法・診断用光増感剤の開発
- 糖質を有する生理活性金属錯体の開発



2機能性を持つ光線力学的療法薬

知能分子学研究室

葛谷 明紀 教授

研究分野 生体超分子化学

- DNAを用いた機能性材料の構築
- 生体超分子の単分子イメージング
- 分子機械・分子ロボットの構築



DNAを並べて作ったナノシート

分子認識化学研究室

矢島 辰雄 教授

研究分野 分子認識化学

- 分子間にはたらく非共有性相互作用の解明
- 非天然型光学活性アミノ酸の合成
- 金属イオンが介在する非共有性相互作用の解明と利用



電位差滴定装置

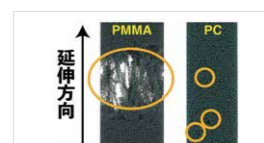
計算物質科学

理論・計算化学研究室

藤本 和士 准教授

研究分野 物理化学・計算化学

- 高分子材料の分子論的研究
- 電池の物質輸送の研究
- シミュレーション手法の開発



2種類の高分子材料(PMMAとPC)の破壊シミュレーション

化学・物質工学科の高い研究力

スタンフォード大学とエルゼビア社が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」(2025年版)に、本学科から単年4名、生涯10名がランクイン。世界的に評価される研究者のもとで、最先端の研究に触れることができます。

私立大学トップクラスの研究力

世界的研究者データベース「Research.com」の2024年化学分野ランキングにおいて、関西大学は国内私立大学第4位。全国的にも高い研究力を有する大学として評価されています。

学生も研究で評価される環境

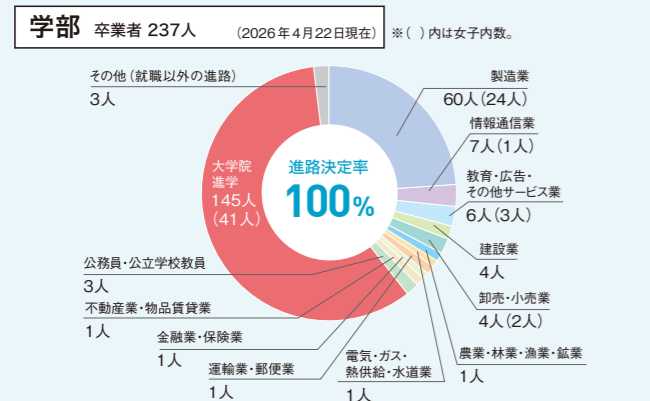
学生の研究活動も活発で、学会や研究発表での受賞が多数。2024年度19件、2025年度20件と、毎年多くの学生が成果を認められています。



化学・物質工学科の就職・進路状況

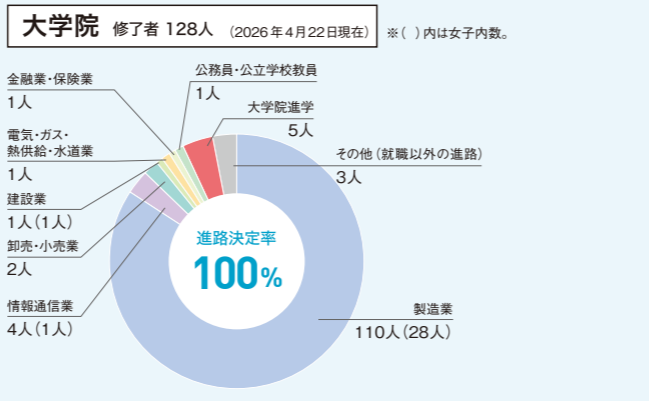
6割以上の学部生が大学院に進学！大学院修了者の多くは研究・開発部門で活躍しています！

本学科の進路決定率は、学部生・大学院生ともに100%となっています。主な就職先としては製造業で、その中でも特に化学系や金属、機械系に多くの学生が就職しており、2026年度以降も、「ものづくり」の基礎を支える企業への就職は高水準が期待できそうです。さらに、本学科の特徴として学部生の61.2% (145名)が大学院に進学しており、多様な「ものづくり」に関する専門的な知識・技術を身に付けたのち、その8割を超える学生が製造業に就職していることが挙げられます。



●学部 進路先 ※< >内は決定者数、企業名のみは1名、()内は女子内数。

製造業	食品製造業	(株)神戸屋(1)、森永乳業(株)
	繊維工業	グンゼ(株)<2(2)>
	化学工業	(株)カネカ、共栄社化学(株)、コタ(株)、サンスター(株)(1)、十全化学(株)(1)、積水成型工業(株)、太陽ファルマテック(株)(1)、東洋製薬化成(株)(1)、ニッタ(株)、ハクソメディカル(株)(1)、(株)BREXA Advan(1)、三笠産業(株)、(株)湯山製作所
	ゴム製品製造業	住友ゴム工業(株)、TOYO TIRE(株)
	鉄鋼業	(株)東本鐵工所<3(1)>、大同特殊鋼(株)<2>、日本精練(株)
	非鉄金属製造業	東洋アルミニウム(株)、日本伸銅(株)、(株)三ツ星
	金属製品製造業	三協立山(株)、(株)タンケンツールセーヴ、ツジカワ(株)(1)、日本電子工業(株)、(株)YSK
	はん用機械器具製造業	(株)神崎高級工機製作所(1)、木村化工機(株)<2(1)>、クニタ西日本(株)(1)、ダイキン工業(株)<3(1)>、中外炉工業(株)、(株)椿本チエン<2>、(株)西島製作所(1)、パナソニック環境エンジニアリング(株)(1)、ヤマホールディングス(株)、レイズネクスト(株)
	業務用機械器具製造業	GEヘルスケア・ジャパン(株)、ニプロ(株)<2(2)>
	計測・制御機器製造業	イビデン(株)、(株)三社電機製作所、ニチコン(株)、マクセル(株)(1)
情報通信業	情報サービス業	(株)JDホールディングス、アビームシステムズ(株)、JFESシステムズ(株)、ジャパニクス(株)、スマセイ情報システム(株)<2(1)>、ヤマトシステム開発(株)
	教育・広告・その他サービス業	専門技術サービス業 (株)エアアドム 広告業 (株)ウィンキューブ・ホールディングス、(株)ギミック(1) その他のサービス業 (株)PSB(1)、(株)ミシェルエンターテイメント(1) その他のサービス業 自営業
	建設業	総合工事業 小島建興(株)、ヤマト住建(株) 設備工事業 高砂熱学工業(株)、(株)LIXIL
	卸売・小売業	各種商品卸売業 (株)山善 卸売・小売業 岩谷産業(株)(1) 機械器具卸売業 (株)たけひし その他の卸売業 プラス(株)(1)
	農業・林業・漁業・鉱業	農業 ロックファーム京都(株)
	電気・ガス・熱供給・水道業	電気業 NTTアノードエナジー(株)
	運輸業・郵便業	倉庫業 山九(株)
	金融業・保険業	銀行業 (株)三菱UFJ銀行
	不動産業・物品賃貸業	不動産取引業 (株)インヴァランス
	公務員・公立学校教員	国家公務員 国家公務員一般職 地方公務員 東大阪市職員、大阪府警察官
大学院進学	関西大学大学院<135(38)>、大阪公立大学大学院、岡山大学大学院、京都大学大学院<3(1)>、九州大学大学院、神戸大学大学院(1)、東京大学大学院、東北大学大学院(1)、北陸先端科学技術大学院大学	



●学部 進路先 ※< >内は決定者数、企業名のみは1名、()内は女子内数。

製造業	食品製造業	(株)田中食品興業所(1)
	印刷・関連産業	大日本印刷(株)<2>
	化学工業	artience(株)(1)、荒川化学工業(株)(1)、上村工業(株)<2>、エア・ウォーター(株)(1)、エスケー化研(株)、(株)大阪ソーダ<2(1)>、大阪有機化学工業(株)(1)、花王(株)(1)、関西ペイント(株)<2>、互応化学工業(株)(1)、コタ(株)(1)、サカイク(株)、サラヤ(株)(1)、サンスター(株)、(株)JSP、ショーワフロンテック(株)(1)、スターライト工業(株)、スベラファーマ(株)、住友精化(株)、積水化学工業(株)、積水メディカル(株)、全業薬品工業(株)、(株)ダイセル、田岡化学工業(株)、タキオン・アインベル(株)、DIC(株)(1)、東リ(株)、(株)クヤマ、ナガセケムテックス(株)、中野製薬(株)、日油(株)、日東化成(株)、日東電工(株)<2(1)>、ニプロファーマ(株)、ハリマ化成(株)、(株)BREXA Advan、丸尾カルシウム(株)、(株)マンダム、三井化学(株)、メック(株)(1)、リントク(株)、(株)レゾナック(1)
	ゴム製品製造業	(株)ブリヂストン
	窯業・土石製品製造業	AGC(株)<2>、TOTO(株)、日本特殊陶業(株)<2>
	鉄鋼業	(株)東本鐵工所(1)、(株)神戸製鋼所<2>、(株)ヨドコウ
	非鉄金属製造業	(株)大阪チタニウムテクノロジーズ、住友金属鉱山(株)、住友電気工業(株)<3>
	金属製品製造業	日本発条(株)
	はん用機械器具製造業	浅田鉄工(株)(1)、カナデピア(株)、(株)京都製作所、(株)クボタ、クボタ空調(株)(1)、(株)光伸(1)、ダイキン工業(株)<4(1)>、中外炉工業(株)、日工(株)、三浦工業(株)、三菱重工業(株)<2>、ヤマホールディングス(株)、レイズネクスト(株)
	業務用機械器具製造業	朝日インテック(株)<2(2)>、テルモ(株)(1)
計測・制御機器製造業	イビデン(株)、ニテック(株)<2>、ヌヴォン テクノロジー(株)、浜松トニクス(株)(1)	
情報通信業	電気機械器具製造業	(株)GSユアサ(1)、パナソニックグループ<7(1)>、三菱電機(株)
	輸送用機械器具製造業	川崎重工業(株)、(株)ジェイテック、(株)シマノ、ダイハツ工業(株)、トヨタ自動車(株)<2(1)>、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)、三菱自動車工業(株)、(株)モリタホールディングス
	その他の製造業	永大産業(株)(1)、京セラドキュメントソリューションズ(株)
	通信業	(株)インターネットイニシアティブ、ソフトバンク(株)(1)
	情報サービス業	(株)SI&C、日本ビジネスシステムズ(株)
	卸売・小売業	卸売・小売業 (株)マクニカ
	建設業	設備工事業 (株)LIXIL(1)
	電気・ガス・熱供給・水道業	電気業 関西電力(株)
	金融業・保険業	銀行業 (株)三井住友銀行
	公務員・公立学校教員	地方公務員 大阪府職員
大学院進学	関西大学大学院<4>、総合研究大学院大学	

生命・生物工学科

学びのキーワード 微生物 / 医薬品・食品 / 遺伝子工学



学科 ホームページ



食品・医薬品・化粧品・環境関連分野など多方面で活躍できる人材を育成する。

生命・生物工学科の2つのコース

バイオテクノロジーコース

生化学や分子生物学の基礎研究をはじめ、食品・環境化学分野や生物を活用した物質生産プロセスに必要な技術を習得し、高度な専門性を備えた技術者・研究者として活躍できる力を養います。本コースでの学びを通じて、微生物による次世代の物質生産システムの開発や、革新的な医薬品や機能性食品の創出に貢献できる人材を育成します。

ライフサイエンスコース

生命の根源である個体・組織・細胞の成り立ちや、細胞構成成分であるタンパク質・核酸・脂質・多糖類などの働きを理解するとともに、それらを扱う技術を習得することでさまざまな生命科学現象を解明する力を養います。本コースでの学びを通じて、最先端の創薬システムの開発や、そのシステムに必要なモデル生物の創生に貢献できる人材を育成します。

生命・生物工学科では、主に微生物、動物細胞、植物細胞、実験動物を取り扱い、生命、医薬、環境、食品の分野に役立つ技術の確立をめざしています。



取得できる資格

所定単位を修得すると資格を取得できるもの 中学校教諭一種免許状[理科]、高等学校教諭一種免許状[理科・工業]、司書、司書教諭、学芸員、毒物劇物取扱責任者	所定単位を修得すると在学時から受験資格が得られるもの 甲種危険物取扱者	卒業時に受験資格が得られるもの 甲種消防設備士、技術士/第一次試験免除(マテリアル科学コース)
---	--	--

OGからのメッセージ

吉田 瑠那さん 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
2024年3月 理工学研究科 総合理工学専攻 化学・物質工学分野 博士課程後期課程 修了

二次電池の性能向上をめざし研究開発に挑む

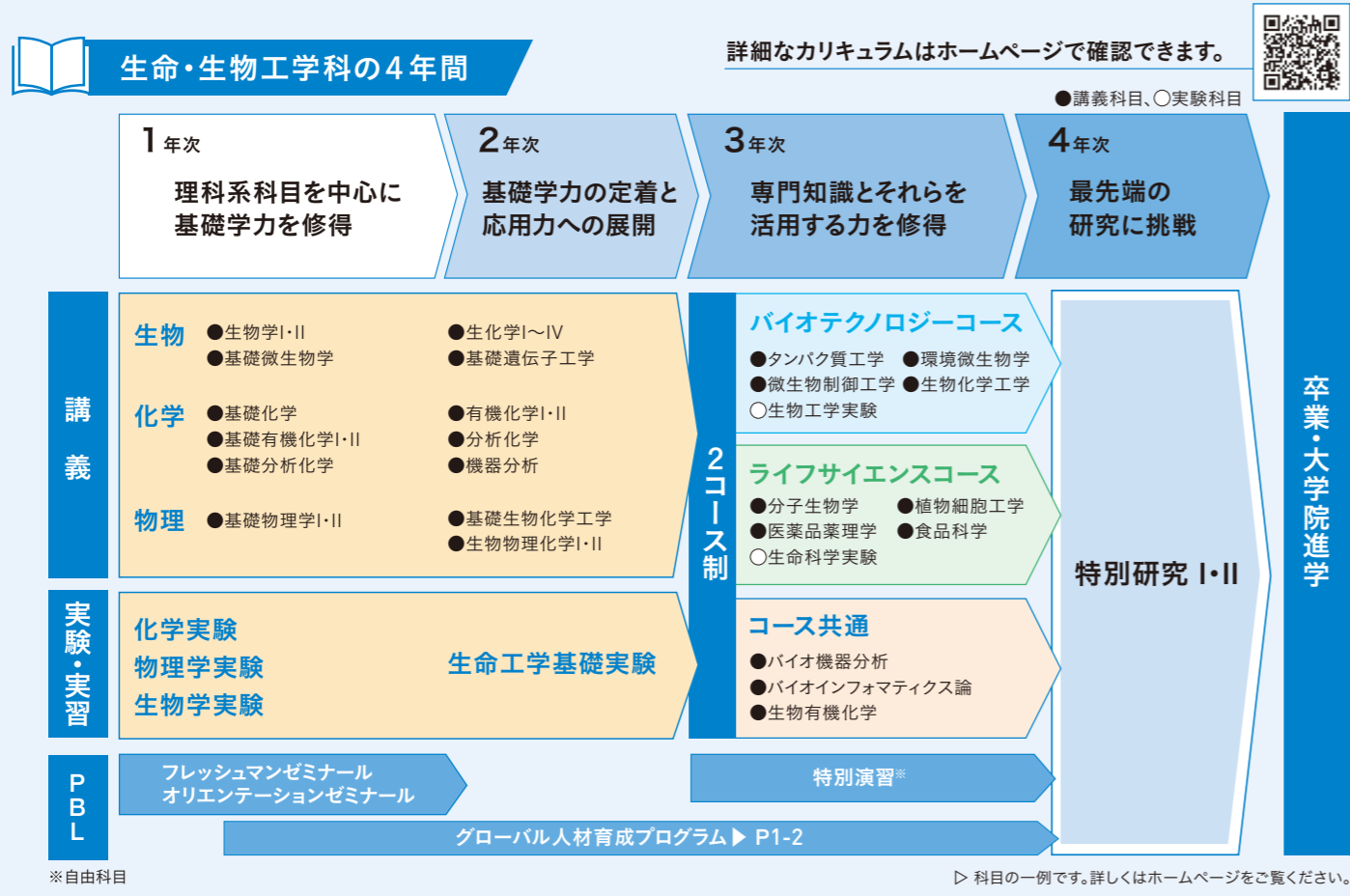


私は産業技術総合研究所の研究員として、主にバッテリー(二次電池)に使用する電極材料の評価や研究開発に取り組んでいます。産総研は、研究段階の材料や技術を応用や開発段階へ押し上げる「橋渡し」の役割を担っており、企業と連携して研究を行います。大学での基礎研究と比較して、より社会実装に近い研究を行うため、自身の研究が世の中に出ていく姿が

想像しやすく、責任とやりがいを感じます。私はあるセミナーをきっかけに「科学で世界をより良くしたい」と思い、研究者を志しました。博士号のために、「納得するまで諦めない」姿勢を貫き、研究をやり遂げました。今後もプロの研究者としてこの姿勢を忘れず、社会に貢献する研究を行っています。

現在の仕事に生きている学科の学び

6年間に渡って、リチウム硫黄電池の研究に取り組まれました。材料調製から分析まで一連の流れを全て自分で行い、効率的に実験を進める姿勢と忍耐力が身に付きました。



Close up 授業

2年次生 科目 生命工学基礎実験 山中 一也 教授 他

多様な実験技術と手法を身に付け、より専門的な実験を行う素養を磨く。

生体構成成分の取り扱い、微生物の培養や同定、有機化合物の合成と構造解析など、バイオテクノロジーおよびライフサイエンス分野の基幹科目である生化学、微生物学、有機化学の授業と連動した実践的な実習を行います。基礎法則を学びながら多様な実験技術と実験手法に関する素養を身に付け、3年次でのより専門的な実験実習へつなげます。また、実験データを整理し、結果を考察する能力を養うとともに、レポートの書き方についても学び、研究者として必要な素養を身に付けます。



講義紹介

酵素工学	バイオ生産工学	創薬科学
生命とは秩序正しい酵素の連続反応と理解することができます。本講義では酵素研究の歴史、酵素の基本構造、酵素の物質生産への応用、酵素反応速度論、酵素の阻害剤の種類や阻害機構、酵素の精製と分析方法などについて学び、酵素の基礎および応用を理解するとともに、今後酵素に期待される研究および社会的役割などについて考える力を養います。	「発酵ジャパン」わが国は古くから清酒、味噌、醤油といった発酵食品を生み出してきました。発酵は微生物が食品成分をアルコールや有機酸、アミノ酸などの成分に変換する現象で、近年、発酵技術を燃料や化学品・医薬品生産に応用する研究が進んでいます。伝統的な発酵産業から最新のものづくり技術まで、微生物利用のための知識を養います。	医薬化学、薬理学および生理学の統合的な理解をめざし、医薬品化合物の分類、医薬品化合物の薬理作用機構、薬物動態や安全性について、創薬の実例をもとに学びます。また、医療や薬事行政の問題や医薬品の臨床開発プロセスを通じて医薬品業界の仕組みを理解するとともに、医薬品業界や創薬研究のトピックスにも触れます。

学生VOICE



清水 健太さん 理工学研究科 化学生命工学専攻 博士課程前期課程 1年次生

研究テーマ 放線菌における新規ゲノム編集技術の開発

- ▶ この学科を選んだ理由
中学・高校時代から化学実験が好きで、目の前で物質の色や状態が変わる様子が惹かれていました。その後、ニュースで微生物から燃料をつくる技術について知り、バイオの力で新しいモノを生み出す研究ができるこの学科を選びました。
- ▶ 将来の目標
大学院に進学し、遺伝子編集技術の精度をさらに高めることが直近の目標です。将来的には、化学や食品といった分野を含め、社会に役立つ新しい価値を創出する研究・開発に携わりたいと考えています。

有用物質を生み出す「放線菌」の遺伝子を操り 創薬技術の発展に貢献する。

抗生物質の原料となる「放線菌」は、創薬分野に欠かせない微生物ですが、その遺伝子を狙い通りに改変することは非常に困難です。私は「Pacl」という特殊な酵素の力で、遺伝子を正確に切断・編集する技術を開発しています。まずは実用化の前段階として、酵素を菌内で正しく機能させるための手法を研究しています。例えば、遺伝子を狙い通りに「漬す」ことができれば、遺伝子の色が青から肌色に変わりますが、実験のどこかにエラーがあれば変化はありません。どこに問題があるのか遺伝子は教えてくれませんが、

一つひとつ検証し、原因を探る必要があります。「0か100か」というシビアな研究を通して、データを丁寧に読み解き、次の手を論理的に考える力が身に付きました。



先生からのコメント

主体的に考え、難題に挑む姿勢に期待しています。

大学生にはハードルの高いテーマですが、清水さんは指示を待つのではなく、主体的に実験を進めています。大学院でもモチベーションを維持し、新しい薬や化合物の発見につながるこの研究に挑戦し続けてほしいと思います。

生命・生物工学科 山中 一也 教授

Close up 研究

有害微生物を制御して安全で快適な環境を提供する

私たちが生活するさまざまな場面で、抗菌加工製品や殺菌剤が使用されています。しかし、それらの効果が十分に得られないことや薬剤耐性菌が出現してしまうことがあります。そこで、適切な抗菌・殺菌効果を示す新しい化合物や素材の評価・開発を行っています。また、殺菌処理前後の微生物叢変化を分子生物学的な手法により解析し、環境に配慮した微生物制御技術の構築をめざしています。



生命・生物工学科 佐々木 美穂 准教授

乳酸菌の成分や代謝物を利用して健康寿命を伸ばす

私たちの腸内には多種多様な腸内細菌が共生し、健康や疾病に密接に関わっています。発酵食品などに含まれる乳酸菌の菌体成分や菌体情報がつめ込まれた代謝物の膜小胞を利用し、腸内細菌叢のバランスを改善したり、免疫系を活性化することで、私たちの健康の維持増進に貢献する研究をしています。また、培養技術を駆使し、高い機能性をもつ乳酸菌や膜小胞の創出にも挑戦しています。



生命・生物工学科 山崎 思乃 教授

取得できる資格

所定単位を修得すると資格を取得できるもの	受験に一定の要件が必要で、本学科に在学中あるいは卒業後に受験資格が得られるもの	受験に特別な資格は必要ないが、本学科で学んだ内容が生かせる資格
1. 卒業に必要な単位の範囲内で取得できる資格(全学部中、本学科のみ取得可) 食品衛生管理者(食品衛生監視員) 2. 卒業に必要な単位とは別に、単位を修得する必要のある資格 中学校教諭一種免許状[理科]、高等学校教諭一種免許状[理科]、司書、司書教諭、学芸員	1. 在学中に所定単位を修得すれば受験できる資格 健康食品管理士(在学中に受験する場合、3年次以上の学生のみ) 甲種危険物取扱者 2. 在学中に受験できる資格 中級バイオ技術者(2年次以上)、上級バイオ技術者(3年次以上)	公害防止管理者、環境計量士

バイオテクノロジー

酵素工学研究室

老川 典夫 教授

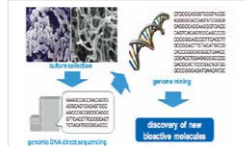
- D-アミノ酸の微生物、植物、きのこにおける機能の酵素科学的解明
- D-アミノ酸に着目した機能性食品の開発
- 新規有用酵素及び微生物の探索と産業利用



関西大学×(株)大源味噌コラゴ商品 D-アミノ酸産生仕込アミノミソの開発

山中 一也 教授

- 微生物ゲノム情報を起点とした新規医薬品シード化合物の探索
- 微生物由来新規医薬品シード化合物の生合成メカニズムの解析
- 新規遺伝子工学技術の開発

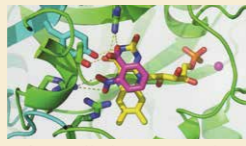


ゲノム情報に基づいた有用生理活性物質生合成研究

環境微生物工学研究室

岩木 宏明 教授

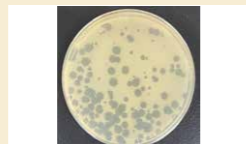
- 未知微生物の探索および環境浄化・ものづくりへの応用
- 環境汚染物質分解菌の遺伝情報解析と機能解析ツールの開発
- 環境中の微生物を思い通りにコントロールする技術の開発



環境汚染物質分解酵素の活性部位

岡野 憲司 准教授

- 菌叢改変技術を用いた合成生態系の作出
- 微生物の代謝改変による有用物質生産
- 微生物のゲノム編集技術の開発



バクテリオファージによる微生物の溶菌

生物化学工学研究室

片倉 啓雄 教授

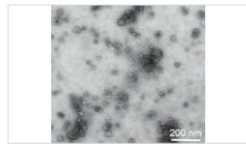
- 好気的流加培養による乳酸菌に乳酸を作らせない高密度培養
- 乳酸菌と腸管および食物繊維との相互作用
- 微生物によるヒアルロン酸、エタノールなどの有用物質生産の高効率化



微生物の培養に用いるジャーファーマーター

山崎 思乃 教授

- 腸内細菌の生体調節機構の解明
- 細菌が放出する膜小胞の機能解析
- 膜小胞を基盤としたドラッグデリバリー技術の研究

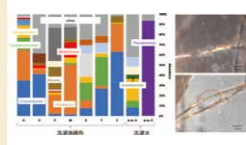


乳酸菌が放出する膜小胞

微生物制御工学研究室

松村 吉信 教授

- 環境中の有害微生物やバイオフィルムの検出・殺菌・洗浄技術法の開発
- 新規抗菌システムの開発
- 微生物による環境汚染物質の浄化に関する研究



タオルに付着しているバクテリア細胞とバクテリア叢解析

佐々木 美穂 准教授

- 新たな抗菌・殺菌技術の開発
- 微生物による有用物質生産
- 環境影響評価と環境修復



抗菌活性の評価

ライフサイエンス

食品栄養化学研究室

福永 健治 教授

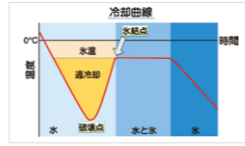
- n-3系高度不飽和脂肪酸の栄養機能
- タンパク質の栄養機能
- 食品由来脂質代謝調節因子の作用機序解明



食品中の脂質成分抽出装置

細見 亮太 教授

- 氷温域での食品の貯蔵・熟成中の成分変化
- 水産物由来タンパク質の健康機能
- 脂質代謝調節成分の探索

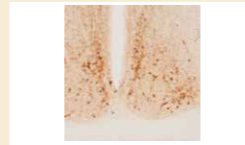


氷温とは0℃以下の未凍結温度域

生命機能工学研究室

山口 賀章 准教授

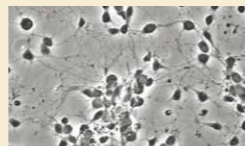
- 時差ボケ軽減薬の開発
- 概日リズム調整剤の探索
- 時計遺伝子分子機構の解明



概日リズムの中核部位に発現するAVP

下家 浩二 教授

- 脳神経系の疾患進行の分子機構の解明とそれら疾患の治療戦略の確立
- ビズフェノールAによる脳内神経細胞への影響評価
- エピジェネティック制御による神経細胞への分化機構の解明

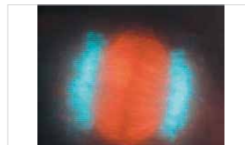


神経細胞の顕微鏡画像

細胞工学研究室

安原 裕紀 准教授

- 高等植物の細胞質分裂装置フラグモプラストの遠心的発達機構
- 高等植物の細胞核の移動と形態制御の仕組み
- 高等植物のキネシン様タンパク質の機能解析

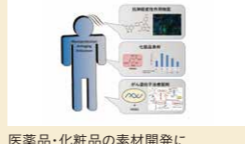


フラグモプラストの蛍光顕微鏡写真。微小管を赤、染色体を青に染色している

医薬品工学研究室

長岡 康夫 教授

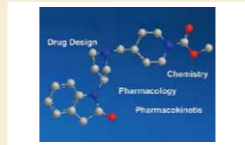
- 有用生理活性化合物の探索
- 医薬品候補化合物の創製
- 生体機能性分子の構築



医薬品・化粧品の素材開発に向けた研究

住吉 孝明 教授

- 生理活性化合物の探索合成
- 活性化合物を用いた生理機能の解明
- 創業を志向した技術・方法論の開発



生理活性化合物の三次元イメージ

発生工学研究室

日下部 りえ 准教授

- 魚類を使った発生工学
- 骨格筋の形成機構
- 発生システムの動物種間比較

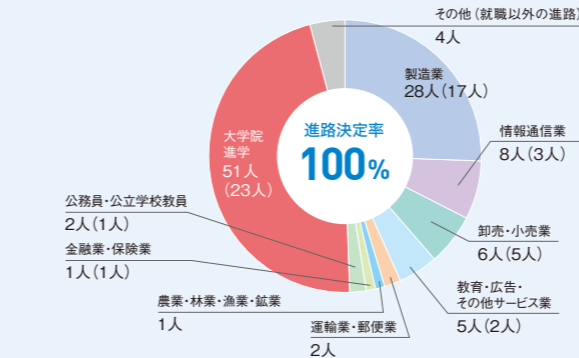


蛍光タンパク質GFPで筋内を可視化したメダカ

就職先としては製造業が中心で、約5割の学部生が大学院へ進学します。

本学科の進路決定率は、学部生・大学院生ともに100%となっています。その多くが製造業を中心に就職しており、中でも特に食品、医薬・化学系の企業への就職が多いことが本学科の特徴です。学部生では、製造業の他に、情報通信業、卸売・小売業、教育・広告・その他のサービス業に就く学生も多くなっています。また、2025年度は47.2% (51名) が大学院に進学しており、より深く専門知識や技術を学んだのち、高度な技術者や研究者をめざすこととなります。

学部 卒業生 108名 (2026年4月22日現在) ※ () 内は女子内数。

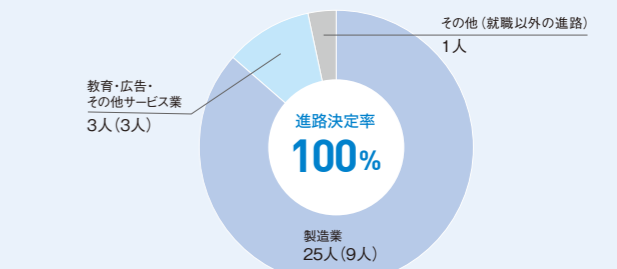


食品および食品関連企業…10人 製薬・医薬品関係…5人
化粧品・医療機器関係…2人 化学・繊維関係…8人

学部 進路先

製造業	食品製品製造業	キュービー(株)(1)、ナリコマグループ(1)、日東富士製粉(株)(1)、(株)ヤクルト本社、山崎製パン(株)、(株)YKベキングカンパニー<2(2)>
	繊維工業	大和紡績(株)<2(1)>
	パルプ製紙加工製造業	レンゴウ(株)(1)
	印刷・同関連業	ザ・バンク(株)(1)
	化学工業	H.U.フロンティア(株)(1)、佐藤薬品工業(株)、沢井製薬(株)、サンコレック(株)、新日本理化学(株)(1)、スベラネクス(株)(1)、東洋紡(株)(1)、日華化学(株)、(株)エビア(1)、浜理薬品工業(株)(1)、(株)BREXA Advan、(株)潮山製作所
	鉄鋼業	JFEスチール(株)(1)
	はん用機械器具製造業	フードテクノエンジニアリング(株)
	業務用機械器具製造業	大和製衛(株)(1)
	その他の製造業	永大産業(株)(1)、(株)台東第一興産
情報通信業	情報サービス業	(株)アイスタンダード、(株)インテック(1)、(株)オージス総研、キンドリジャパン(株)、(株)システムリサーチ(1)、(株)テクノエッジ、(株)日立ソリューションズ、富士フィルムシステムサービス(株)(1)
卸売・小売業	各種商品卸売業	(株)JALUX(1)
	服飾・服飾関連業	日本アルコール販売(株)、(株)メディセオ(1)
	機械器具卸売業	アズワン(株)<2(2)>
	その他の卸売業	ダイトロン(株)(1)
	専門・技術サービス業	アクセンチュア(株)(1)、(一財)日本食品分析センター(1)
教育・広告・その他サービス業	飲食店	日清医療食品(株)
	その他の教育・学習支援業	(株)ラストデータ
	職業紹介労働者派遣業	日研トータルソーシング(株)
運輸業・郵便業	鉄道業	西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
	道路貨物運送業	日本通運(株)
農業・林業・漁業・鉱業	農業	(株)早和果樹園
金融業・保険業	協同組織金融業	京都中央信用金庫(1)
公務員・公立学校教員	国家公務員	国家公務員一般職(1)
	地方公務員	堺市消防吏員
大学院進学		関西大学大学院<44(22)>、大阪大学大学院<4(1)>、奈良先端科学技術大学院大学<3>

大学院 修了者 29名 (2026年4月22日現在) ※ () 内は女子内数。



食品および食品関連企業…5人 製薬・医薬品関係…7人
化粧品・医療機器関係…2人 化学・繊維関係…9人

学部 進路先

製造業	食品製品製造業	三栄源エフ・エフ・アイ(株)(1)、日清食品ホールディングス(株)、フジッコ(株)
	パルプ製紙加工品製造業	大王製紙(株)(1)
	印刷・同関連業	大日本印刷(株)
	化学工業	(株)アジュバンホールディングス(1)、エアウォーター(株)<2(1)>、花王(株)、健栄製薬(株)(1)、小林製薬(株)<2(1)>、ZACROSI(株)、テイカ(株)、帝國製薬(株)(1)、東洋製薬化成(株)、日油(株)<2(1)>、新田セラチン(株)、日東電工(株)、日本新薬(株)、扶桑薬品工業(株)
	ゴム製品製造業	TOYO TIRE(株)(1)
	業務用機械器具製造業	朝日インテック(株)
	輸送用機械器具製造業	(株)アスパーク
教育・広告・その他サービス業	専門・技術サービス業	(一財)日本食品分析センター(1)
	その他のサービス業	(株)ケー・エー・シー(1)、(株)消費科学研究所(1)

OBからのメッセージ

桐原 一樹さん 積水メディカル株式会社
2023年3月 理工学研究科 化学生命工学専攻 博士課程前期課程 修了

検査薬の研究開発を通して人々の健康に貢献する



検査薬開発技術と微粒子技術をもとにしたラテックス技術の融合によって、生化学・免疫・糖尿など幅広い診断マーカーに対応した新しいラテックス検査薬の研究開発に取り組んでいます。正確な検査により病気の早期発見・予防、適切な治療方法を提供することで、健康でサステナブルな社会の実現に貢献しています。私は幼いころに病気が発覚し、入院退院を繰り返した

ことがきっかけで健康や医療、医薬品などに興味をもちました。そして人々の健康を守る研究者として活躍したいと思い、病気を患った人々だけでなく健康人の健康にも幅広く貢献できる積水メディカルで働くことを決めました。今後は社会が求めている製品開発に挑み続け、自身の手で人々の健康に広く貢献することが目標です。

現在の仕事に生きている学科の学び

在学中に学んだ化学や物理、生物といった知識を融合した製品開発に取り組んでいるため、多くの分野を学んだことが大きなアドバンテージになっています。